

## 研修内容(コース・科目)

コース	科目	東京会場	大阪会場
入門コース	オリエンテーション		
	遠隔医療入門(1)概要 遠隔医療入門(2)情報セキュリティと関連技術	2月16日(金)午前	2月23日(金)午前
政策コース	遠隔医療と法制度 診療報酬制度・地域医療介護総合確保基金		
	国の推進策の動向	2月16日(金)午後	2月23日(金)午後
	地方の推進政策動向		
	制度や政策への期待		
基本手法1コース	遠隔医療の原理		
	診療手法の作り方 臨床研究手法	2月17日(土)午前	2月24日(土)午前
連携指導・管理コース	救急遠隔医療 地域包括ケア オンライン診療 在宅医療のための遠隔診療(チーム医療実習)	2月17日(土)午後	2月24日(土)午後
基本手法2コース	遠隔医療のスタートアップ 地域病院を支援する遠隔医療	2月18日(日)午前	2月25日(日)午前
慢性疾患管理コース	循環器疾患 呼吸器疾患(CPAPなど) 糖尿病管理 デバイスモニタリング (心臓ペースメーカー、CPAPなど)実習	2月18日(日)午後	2月25日(日)午後

- ディスカッションおよびレポートに感想、問題意識を書くことを重視します。
- レポートの作成と提出がコース修了の条件です。
- ワークショップとは、質疑応答、討議のための科目です。

一科目は40分講義、5分休憩の45分です。

### 配布教材

講義テキスト、副読本(一般社団法人日本遠隔医療学会編 図説日本の遠隔医療2017)、参考書(遠隔診療実践マニュアル 一在宅医療推進のために、日本遠隔医療学会編集委員会監修、篠原出版新社) \*参考書をお持ちでない方に無料配布します。

### コース選択のご案内

- 全ての皆様へ** 遠隔医療を活かすには幅広い知識が欠かせません。職種、所属機関に依らず、全コース参加をお勧めしております。全てのコース・科目が、全ての皆様のお役に立てる内容で、参加資格や前提知識等はありません。ただし日程等のご都合で全コース参加が難しい場合には、以下を参考に参加コースをお選びください。
- 医療従事者・介護職者の皆様** 在宅患者への遠隔診療や専門医療者支援(DtoD)の遠隔医療に関する専門コースは**連携指導・管理コース**です。慢性疾患の指導管理やバイタルモニタリングに関する専門コースは**慢性疾患管理コース**です。地域包括ケアや診療報酬等の基礎を詳しく学ぶために**政策コース**と**基本手法**や立ち上げ手法等を学べる**基本手法1、2コース**へのご参加をお勧めします。
- 行政の皆様** **連携指導・管理コース**や**慢性疾患管理コース**の受講は、医師偏在緩和、救急医療の不足、在宅医療の推進、重症化予防、地域包括ケアなどの地域の医療課題への政策の実態を考えるための基本知識習得に欠かせません。**基本手法1、2コース**の受講も基礎的情報に欠かせない重要なコースです。
- ビジネス企画や技術開発をご検討の皆様** **連携指導・管理コース**や**慢性疾患管理コース**は、利用者ニーズや診療の実態の基礎知識の習得に欠かせません。**政策コース**、**基本手法1、2コース**の受講は、ビジネスモデルを企画する基礎知識の習得に欠かせません。

■ 事情により、講義名や時間等が変更されることがあります。最新情報はホームページをご覧ください。